

目標達成計画

作成日: 平成 28年 4月 10日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	万が一の地震や火災、風水害に備え、定期的な訓練、備蓄品の確保が必要 臨機応変な対応ができない	利用者が安全に避難できる方法や体制作り	①併設施設、またせんねん村本部との防火管理委員会の開催 ②職員の意識向上のため、教育訓練の実施 ③定期的な避難、通報、消火訓練の実施により、より実践的な訓練の実施 ④非常時の備蓄品の点検・確保 ⑤地域や消防に働きかけを行い、協力体制の構築	12ヶ月
2	43 44	できる限り、トイレでの排泄を目指すとともに、便秘の及ぼす原因を職員が理解し、スムーズに排泄出来るように支援する	排泄パターンに沿ったケアを行い、トイレに座る習慣を確立する事でトイレで排泄ができるようになる	①排泄チェック表をもとに、個々の排泄パターンを把握 ②アセスメント・モニタリングを繰り返し、その方に合った排泄支援方法の確立 ③排泄・排便のメカリズム、重要性を学ぶ学習会の開催	12ヶ月
3	30 31 34	日常の健康管理の中で、一人ひとりの持病や薬の内容・効果からの状態の変化・経過などを見ていく視点が十分ではない	1人ひとりの持病や、高齢者に起こりやすい症状を学ぶ	①病歴と服薬から、普段の健康管理や観察のポイントの理解 ②家族・医療関係者に状態や経過が的確に情報提供できるように伝達方法の改善 ③認知症やその他高齢者が罹患しやすい病気について学ぶ	12ヶ月
4	19	家族の思い・要望をより伝えやすい環境を作る	家族の思い・要望を汲み取り、改善していく	①信頼関係構築のため、日頃からのコミュニケーションを密に図る ②家族の思い・要望を職員間で共有 ③改善状況を、便りでお知らせ	12ヶ月
5	13	新人・中途採用者の基本に基づいた指導が不十分	介護手順書に基づいたケアの実施にて業務の標準化ができる	①手順書の意義や目的の学習 ②介護手順書(食事・排泄・入浴・移動等)、業務手順書の工程チェック ③手順書の追加・修正時の方法確立と周知	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。